

今年度はより先進的な対策を行っていくとのことですが、どのようなものか伺います。

中村村長 いままでいろいろなモニタリング調査をやっており、そこで得た課題から有害駆除と処理方法を組み合わせた効率的な捕獲を行いたいと考えています。

長谷川耿聰議員

1 リゾートとの協議

問 村有施設の買取り延期を(株)星野リゾート・トマムからお願いを受けて協議を進めることとしたという表現は公文書として残すべきでないと思いますが、見解を伺います。

中村村長 買取り延期願いとある文章が来ているので、このような表現になりました。

問 任意の協議を継続することが困難になったとありますが、どのようなことですか。

中村村長 交渉が続けてきた相手との信頼関係が崩れたこと、新オーナーとの責任関係も不透明なことから、調停を申し立てたという経過です。

2 私有林育成の支援

問 私有林の育成のためにどの程度の助成金を出すのですか。

中村村長 人工造林で自己負担は約6%です。より具体的な提案が森林組合からなされれば、もう少し山林経営に対して意欲も湧くと考えています。

不在地主対策としては、森林組合と連携して買えるところは村で買うように進めていきたいと思っています。

3 新公会計制度

問 新公会計制度について伺います。

中村村長 平成29年度から財政書類を公開するために導入される制度で、村が持っている山林原野、建物全部が全て複式簿記の対象となります。

4 トマム給油所

問 トマム給油所改修後の運営管理について伺います。

中村村長 運営母体に関しては、トマム地域内で組織され、または継続して運営可能と判断される団体を想定しています。



運営開始が望まれるトマム給油所

が、いまは具体化していません。管理は指定管理を考えています。

ので、応援要請することもあり、今後も今までどおり進めていきます。

負担軽減はどのくらい進んだのでしょうか。特に学校給食部門、消防部門の統一化、共有化が進んでいないと思います。副連合長の村長に、今後の方向性を伺います。

中村村長 学校給食など統一化されていないところもありますが、串内牧場、ごみ処理は、かなり負担軽減になっていると思います。消防は地賄い方式で、占冠は高速道路を抱えています。

3 TPPの影響

問 TPPについて「発効後の影響は計り知れない」とありますが、具体的に影響を予測して備えていただきたいと思っています。伺います。

中村村長 特に酪農は乳製品が輸入品目に入っているため、影響が懸念されます。経営基盤の安定が必要であり、対策を進めていきたいと思っています。

4 アンテナショップ

問 現在は民間企業の運営になっているようですが、具体的にどういったフォローをしていくのか伺います。

中村村長 イベント等に連携して取り組んでいきたいと思っています。また、民間の事業者に話を聞いて対応したいと思っています。

山本敬介議員

1 富良野広域連合

問 当初の目的である効率化・

2 トマムの地域振興

問 住民活動の支援は大切ですが、コンビニや、新しい住宅建設など具体的な施策とセットでなければ、地域振興は進まない

5 物産館の方向性

問 1階利用者の募集をしています。行政の施策意図が見えませんが、以前私からも提案していますが、ゴミ減量化のための「くるくるマーケット」や、村内の起業サポートのためのミニオフィスなど、何か施策意図のある活用を考えて欲しいと思います。今後の方向性について伺います。

中村村長 物産館の入店者は、どういう職種でもいいとは考えていません。応募があった際にきちんと整理して進めたいと思っています。

6 児童福祉

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略に「若い世代の結婚、出産、子育て」があります。これは非常に重要な施策だと思うのですが、例えば、「森のようちえん」や「木育」のように具体的な施策が入ってこなければと思います。いかがでしょうか。

また、議会で視察に行った安平町では、教育委員会で保育部門も担っています。このことについて所感を伺います。

中村村長 児童福祉の具体策は、林業振興室でも考えています。他の部署と連携できる事業に取り組んでいきます。法律の一部改正により教育委員会とは今まで以上に連携を取っていきます。保育所を教育委員会の所管にという事ですが、今のところは考えていません。

五十嵐正雄議員

1 トマムのインフラ整備

問 地方創生の中で2040年における占冠村の人口を105

5人と目標を設定し、村づくりを進めることになっています。

そのためには何といってもトマム地区における宅地分譲や住宅政策及び上下水道等のインフラ整備を早急に進め、観光施設で働く人々たちをトマム地区に移住・定住してもらうことが必要であると思いますが、村長の考えを伺います。

中村村長 トマムの定住対策については、喫緊の課題であると考えております。地権者への呼びかけ、購入に関しての折衝を行ってきましたが進まない状況です。

働いている方々がトマムに住んでいただくことが大前提であり、インフラ整備を進めて、移住・定住対策を進めたいと考えています。

2 林業担い手の育成

問 林業政策は成果がすぐに出るものではありませんが、村はこの間、林業振興室を設置し、積極的に林業施策を推進してきました。

林業振興事業の受け皿となる事業体の育成や林業労働力（担い手）対策の取組みは喫緊の課題です。具体的な取組みや考え

を伺います。

中村村長 林業事業体の支援育成については、施策方針に記載されている事業を引き続き実施するとともに、森林組合の力を借りながら施策を進めます。また、村の取組みを理解してもらうために事業体との意見交換を行いながら、村の考えを伝え、関係機関の指導を仰ぎながら進めます。



木質バイオマス導入促進事業

3 地域交通の利便性

問 地域交通の中で、村長はより利便性の高い効率的な地域交通の確保に努めま

す。利便性が高いとは、住民にとって利便性が高いということか。また効率的とは事業投資した額に対して住民の乗車率とか、利用率の向上のことを考えているのか伺います。

中村村長 地域交通について、より利便性が高いというのは、住民の方々が使いやすいという意味です。効率的とは、せっかくある路線バス、巡回バス、むらびと交通の運行が上手く連携し合うような利用だと考えています。

工藤國忠議員

1 トマムの公園整備

問 上トマム地区公園整備事業とありますが、場所はどこなのか、規模と内容を伺います。

中村村長 今年度は造成ではなく設計を考えています。場所は今ある公園の一角を住民の意向を聞きながら公園の内容を作っていききたいと考えています。

2 トマム給油所

問 トマム給油所改修費とあり